

コートジボワール

Republic of Cote d'Ivoire

	2011年	2012年	2013年
①人口：2,340万人（2013年）			
②面積：32万2,462km ²			
③1人当たりGDP：1,175米ドル （2013年）			
④実質GDP成長率（%）	△4.7	9.8	8.7
⑤消費者物価上昇率（%）	4.9	1.3	2.6
⑥失業率（%）	n.a.	n.a.	n.a.
⑦貿易収支（100万CFAフラン）	2,816,300	1,360,400	1,526,200
⑧経常収支（100万CFAフラン）	1,256,400	△473,000	△238,100
⑨外貨準備高（100万米ドル、 期末値）	4,316	3,928	4,243
⑩対外債務残高（グロス） （100万CFAフラン、期末値）	6,264,200	3,839,900	4,303,400
⑪為替レート（1米ドルにつき、 CFAフラン、期中平均）	471.9	510.5	494.0

〔注〕⑦⑧の2012年、③～⑩の2013年は推計値
〔出所〕①②④～⑥⑩：経済財政省、③⑨⑪：IMF（IFS）、⑦⑧：経済財政省・西アフリカ諸国中央銀行（国際収支統計）

前年に続き高成長を達成

2013年のコートジボワール経済は、2012年6月に国際金融機関によって包括的な債務削減が行われたこともあり、インフラや資源開発を中心に投資が拡大した。これにより、実質GDP成長率は8.7%（推計値）と前年（9.8%）に続き、高水準を維持した。

2013年の経済を産業別にみると、内需拡大により建設、エネルギー、商業が好調だった。需要項目別にみると、民間最終消費支出は、雇用・所得環境の改善で前年比7.5%増、政府最終消費支出は、雇用創出や教育・保健衛生など優先分野で支出が増加したものの、財政健全化に向けた支出抑制により全体では3.5%減となった。民間投資は生産設備の拡張などにより22.0%増、公共投資は、政府が力を注ぐインフラ整備など大型公共事業が進展し50.4%増となった。

輸出入ともに過去最高額を記録

2013年の貿易動向をみると輸出が前年比22.5%増の6兆7,823億CFAフラン、輸入が25.8%増の6兆2,756億CFAフランとなり、それぞれ過去最高額を記録した。貿易黒字は5,067億CFAフラン（8.1%減）だった。

輸出は最大品目のカカオ豆（構成比19.5%）の生産が

表1 コートジボワールの需要項目別実質GDP成長率

	2011年	2012年	2013年
実質GDP成長率	△4.7	9.8	8.7
民間最終消費支出	△4.4	8.8	7.5
政府最終消費支出	△8.2	14.1	△3.5
国内総固定資本形成	△37.1	84.4	31.3
財貨・サービスの輸出	△3.7	4.4	5.7
財貨・サービスの輸入	△26.9	29.6	5.8

〔注〕2013年は推計値。

〔出所〕経済財政省

過去最高の167万トン（前年比11.5%増）だったことに加え、国際価格が強含みに推移し、輸出額全体を押し上げた。カカオ調製品（構成比9.0%）も、加工率向上を目指す政府の奨励策や原料供給の安定化により、13.6%増加した。原油（7.0%）は、主力油田の生産量の減少と原油価格の軟化とが相まって数量は22.4%減、金額は26.0%減と大幅に減少した。石油製品（14.1%）は、製油施設が生産調整を行ったことで1.6%減の微減となった。

輸入は最大品目の原油（構成比23.0%）が需要増により数量では7.7%増加したが、原油価格の下落により金額では2.9%増となった。次いで一般機械、コメ、鉄鋼、電気機器、プラスチック製品などが上位を占める。国内産業の活発化と内需拡大を反映し、これら主要品目を中心に資本財、中間財、食料品以外の消費財が増加した。コメ、小麦、乳製品を中心に食料品の輸入が国内供給の安定化や在庫調整を受け減少した。

国別では、輸出はガーナ向けが最大となった（構成比13.8%、前年比4.2倍）。浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積み出し設備（FPSO/FSO）や、掘削・採掘用機械部品の再輸出が金額を押し上げ、輸出額の5割超を占める。オランダ（8.5%、18.3%増）と米国（6.8%、3.4%増）は、主力のカカオ豆、カカオ調整品や原油、石油製品、天然ゴム、木材などが好調だった。陸路越境ルートが改善したブルキナファソやマリなど周辺諸国は石油精製品のほか、たばこ、プラスチック製品、肥料などが大幅に増加した。輸入では、最大のナイジェリア（22.7%、11.4%増）で原油が9割強を占めた。国内需要の高まりで石油精製が拡大したことから、原料となる原油を中心に輸入が増加した。

コートジボワールなど15カ国が加盟する西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）は、2015年1月からの対外共

表2 コートジボワールの主要品目別輸出入<通関ベース>
(単位:100万CFAフラン、%)

	2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(その他含む、FOB)	5,538,244	6,782,296	100.0	22.5
カカオ豆	1,185,542	1,322,206	19.5	11.5
石油製品	971,065	955,112	14.1	△1.6
カカオ調整品	536,461	609,467	9.0	13.6
原油	640,233	473,550	7.0	△26.0
ゴム	412,802	376,765	5.6	△8.7
輸入総額(その他含む、CIF)	4,987,064	6,275,566	100.0	25.8
原油	1,404,571	1,444,917	23.0	2.9
一般機械	339,640	401,719	6.4	18.3
コメ	349,274	233,164	3.7	△33.2
鉄鋼	178,219	208,834	3.3	17.2
電気機器	164,178	194,456	3.1	18.4

[注] 2013年の数値は暫定値。

[出所] コートジボワール税関総局

通関税導入に向け調整を行っている。またEUとアフリカ・カリブ・太平洋(ACP)諸国包括協定の一環として、EUと経済連携協定(EPA)の地域別交渉を続けており、2014年10月の締結を目指す。

■大型投資が相次ぐ

鉱業、農産物加工、電気通信やホテル業などで外資による大型投資がみられた。新投資法の施行や法人設立、投資認可手続きの簡素化といった一連の政策も投資増に寄与しているとみられる。コートジボワール投資促進センター(CEPICI)の投資認可ベース統計(鉱物資源・石油・ガス探査と開発、不動産・建設・公共土木事業、金融・銀行・保険サービス部門の案件は含まれない。また商業および輸送については5億CFAフラン以上の案件のみが対象)によると、前年比39件増の143件、金額は過去最大の約5,138億CFAフラン(2.7倍)となった。業種別では電気通信が最大で、次いでサービス、アグロ・インダストリー、ホテル、セメント製造が上位を占める。国別では国内資本(構成比20.7%)が最大で、次いでモリシャス(18.9%)、英国(17.1%)、トーゴ(8.8%)、フランス(8.0%)だった。歴史的経緯からフランスなど欧州諸国の優勢が続いていたが、近年ではアジアやアフリカ勢の攻勢が目立ち、貿易とともに投資においてもパートナーの多角化が進んでいる。

外国企業の動向では、資源開発やエネルギー分野のほか、インフラ開発に大型投資がみられた。仏フォックスロットが2013年5月、ガス田のプラットホーム建設に4億3,700万ドルの投資を行うほか、新規鉱区の開発に5,000億CFAフランを投入する計画を発表した。中国水利水電建設集団公司在中国輸出入銀行の融資により西アフリカで最大規模となる水力発電ダム建設を受注、2013年2月に着工した。非石油部門では、英ランドゴールド

など12社が金鉱の探査権・開発権を取得した。需要が高まる農業および農産物加工では、仏セモアが2014年1月に40億CFAフランに上るチョコレート製造工場の設立計画を発表、コートジボワールを拠点に周辺16カ国への輸出を計画している。そのほか、情報通信技術(ICT)や金融を中心に第三次産業への外資進出も活発化している。

■対日輸入は増加、輸出は減少に転じる

2013年の対日貿易は、輸出が30億9,389万CFAフラン(前年比37.0%減)、輸入が987億199万CFAフラン(2.2%増)となった。品目別では、輸出の5割強を占める最大品目のカカオ調整品が金額、数量でそれぞれ63.4%、60.9%減少する一方、4割強を占めるカカオ豆は金額、数量でそれぞれ5.2倍、5.0倍となった。日本からの輸入は乗用車が最大で(構成比37.7%、前年比8.4%増)、次いで乗用車以外の車両・同部品、乗用車部品(14.9%、15.1%増)、ディーゼルエンジンやフォークリフト、ブルドーザーなど機械機器(14.4%、33.9%増)、スラグサンド(8.6%、22.4%増)、セメント用クリンカー(5.9%、52.1%減)など、内需拡大を反映して耐久消費財、資本財の増加が目立った。経済活動の回復を反映して乗用車、貨物車、自動二輪車とともに、メンテナンス用部品・付属品も増加した。一方、10人以上の人員輸送用自動車は買い替えが一巡した反動で減少したとみられる。このほか、主要輸入品である新品タイヤ(主にバス・トラック用)も大幅に減少した。前年好調だった建設資材では、クリンカー、圧延めっき鋼板を主とした鉄鋼製品が輸入量、金額ともに減少する一方で、スラグサンドが大幅に増加した。

日本企業では、伊藤忠商事が2013年10月、アビジャンに現地法人を設立、同拠点設置により、ケニアのナイロビ事務所、南アフリカ共和国のヨハネスブルク支店と合わせた三極体制でサブサハラ・アフリカの事業に取り組み。

表3 コートジボワールの対日主要品目別輸出入<通関ベース>
(単位:100万CFAフラン、%)

	2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(その他含む、FOB)	4,911	3,094	100.0	△37.0
カカオ調整品	4,442	1,624	52.5	△63.4
カカオ豆	253	1,325	42.8	423.7
輸入総額(その他含む、CIF)	96,604	98,702	100.0	2.2
乗用車	34,333	37,233	37.7	8.4
乗用車以外の車両・同部品、乗用車部品	12,749	14,676	14.9	15.1
機械機器	10,577	14,165	14.4	33.9
スラグサンド	6,909	8,455	8.6	22.4
セメント用クリンカー	12,182	5,831	5.9	△52.1

[出所] コートジボワール税関総局